

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和2年10月2日

①学校名:	愛知医療学院短期大学	②所在地:	愛知県清須市一場519		
③課程名:	専攻科リハビリテーション科学専攻	④正規課程/履修証明プログラム:	正規課程(専攻科)	⑤開設年月日:	201004
⑥責任者:	専攻科長 宮津真寿美	⑦定員:	20名	⑧期間:	1年間
⑨申請する課程の目的・概要:	当専攻科は、理学療法士・作業療法士等の医療系有資格者をはじめ、リハビリテーション科学を深めたい者を対象に、リカレント教育、キャリア教育を含む生涯教育を主体的に展開する能力の修得を目指す。医療構造の変化や医療技術が進展する中で、医療技術者に求められる知識や技能をさらに発展させ、より専門性を高める。また、社会人でもある学生が持つ豊富な経験やデータをさらに発展させ、研究論文として発信するための研究法や論文のまとめ方を修得する。さらに、行政や企業と連携して授業を展開することで総合的な知識を獲得し、実践力を高める教育を行う。				
⑩4テーマへの該当の有無	無	⑪履修資格:	・理学療法士・作業療法士養成施設として認定を受けた施設を卒業した者 ・前述に該当する者と同等以上の学力があると認められる者 ・リハビリテーション科学を深めることを目的として、本学が認めた者		
⑫対象とする職業の種類:	理学療法士、作業療法士、その他の医療技術者				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・障がいをもつ人々の心身を理解し支えることができる人格形成 ・自主性・創造性および問題解決能力を兼ね備えた上で、心身機能の向上や障害受容の為の医学的知識や技能を身につけ、医学の進歩と社会の変化に対応できる能力 ・短期大学等の専門教育の上により高度な専門的学術		(得られる能力) ・自主性 ・創造性 ・問題解決能力 ・リーダーシップ ・心身機能の向上や障害受容の為の医学的知識、技能 ・医学の進歩と社会の変化に対応できる能力		
⑭教育課程:	教養科目系では、社会とのかかわりの中で様々な課題について考え、自主性・創造性を育むとともに、他者と協働して主体的に行動する能力を修得し、臨床現場でリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指す。特に、組織マネジメント(30時間)では、ディスカッション、ロールプレイを通してコーチングスキルを学び、コミュニケーション、マネジメント、リーダーシップについて学ぶ。経営学(15時間)やリハビリテーション管理科目の医療福祉行政学(15時間)では、医療福祉の現状を知り、問題点について考えるとともに、経営的な視点も取り入れ、マーケティングや経営戦略についても考える。理学療法学、作業療法学の専門科目として、基礎科目系科目、運動機能障害系科目、生活機能障害系科目、リハビリテーション管理科目、リハビリテーション科学研究等幅広い分野を網羅し、3年制の養成課程で修得した知識、技能をさらに発展させ、心身機能の向上や障害受容の為の医学的専門知識や実践的スキルを身につけ、医学の進歩と社会の変化に対応できる能力を修得する。また、当該科目の中で、実際の臨床現場により即した内容を学ぶ機会にも繋げていく。例えば、運動機能障害系、生活機能障害系の科目では、講義を基本としつつ受講者が担当した症例等の具体的な内容についてディスカッションする場を設け、臨床現場に出てから気付いた疑問等について考察し、実際の治療場面を想定した具体的な講義を行うことで、理学療法士、作業療法士等の医療技術者として自ら問題を解決する能力の修得を目指す。リハビリテーション科学研究では、大学評価・学位授与機構に申請し、学位を取得することを目的とした研究論文を完成させるために必要な研究手法を学んだ上で論文を作成し、研究発表を行う過程を通し、自ら疑問を持ち、解決する能力を養うことで医学の進歩と社会の変化に対応できる人材の育成を目指す。				

⑮修了要件(修了授業時数等):	31単位以上の修得、研究論文の提出・審査の合格						
⑯修了時に付与される学位・資格等:	専攻科「リハビリテーション科学専攻」修了証						
⑰総授業時数:	39	単位	⑱要件該当授業時数:	37	単位	⑲要件該当授業時数／総授業時数:	95%
⑳成績評価の方法:	筆記試験、レポート、口頭試問、実技試験、参加貢献度、ポートフォリオ、研究報告、論文紹介等、科目別に評価の方法、基準を定め、総合的に判断する。						
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。「自己点検・評価委員会」において、本専攻科の成果の検証や評価を行う。また、当該検証・評価結果については、ホームページにおいて公表する。						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対しアンケート調査や職場を訪問し聞き取り調査を実施し、また、職場の上司等への聞き取り調査を実施し、その結果を専攻科委員会で検討し、改善に役立てる。						
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	<p>(教育課程の編成) 教職員で構成する専攻科委員会において、本学が協定を締結している医療機関、企業、地元清須市に聞き取り調査およびシラバス等関係書類の確認を通して、教育課程の編成について意見を取り入れる。</p> <p>(自己点検・評価) 自己点検・評価を行うための全教職員で構成する自己点検評価委員会に企業から外部評価員を加え、意見を反映させる。</p>						
㉔社会人が受講しやすい工夫:	土日・夜間開講、集中講義、オンライン受講						
㉕ホームページ:	(URL) https://www.yuai.ac.jp/advancedcourses/subject.html						

事務担当者名:	飯田 満希子	所属部署:	統括管理部教育研究推進課
連絡先:	(電話番号) 052-409-3311 (E-mail) suishinka@yuai.ac.jp		

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。